

学発番号: 学18-031★
事業名: 乳腺講習会(日臨技推進事業研修会)
日時: 平成30年9月14日(金) 18:30~20:30
場所: 京都保健衛生専門学校 視聴覚室
主 題1: 「当院乳がん症例のエコー所見と病理所見の検討」
講 師1: 森口 善生 医師(京都市立病院 乳腺外科部長)
主 題2: 「乳癌の発生から治療まで」
講 師2: 西村 祥子 医師(京都市立病院 乳腺外科)
主 題3: 「知っておきたい乳がん治療とトピックス」
講 師3: 末次 弘実 医師(京都市立病院 乳腺外科副部長)

参加数: 総数:38名(京臨技会員:36名、非会員:0名)
報告者: 北野 智美(京都府立医科大学附属病院)

以下、講演内容など

今回は実際の現場で検査と治療にあたる乳腺外科の医師三人から症例・乳癌の発生から検査・治療まで・そして最新トピックスまで幅広く講演していただく機会を得られた。

症例報告ではエコーだけでなくマンモグラフィやMRIを用いた報告と実際切除した後病理の組織標本となった腫瘍とエコー像を対比させており、医師ならではの見解を聞くことができた。

発生から治療まででは順を追って成り立ちを説明していただいた後、免疫染色の結果によりどこまでホルモン療法の効果が期待できるかなど女性ホルモンと乳癌との関わり方を分かりやすく説明していただいた。

最後の最新トピックスではハリウッド女優のアンジェリーナ・ジュリーが将来乳癌になる可能性があるため乳腺の摘出をしたことで一躍注目されたHBOC(遺伝性乳癌卵巣癌症候群)について“遺伝性”と“家族性”では意味合いが違うこと、乳癌が見つかった時HBOCであるかどうかの一次拾い上げで問診がとても重要であること。しかし遺伝子検査なので患者の“知りたくない権利”など倫理的な要素も強くカウンセリングなどの体制を整えて行われている医療機関はまだまだ少ないことなど今のHBOCをとりまく環境についてとても分かりやすく説明していただき興味深い勉強会となった。